

歴史ある供米田の地で、地域連携によるコメづくり 〈障害者×子ども×自然栽培×都市農地〉 株式会社ウィンパートナーズ（ぽかぽかワークス）（名古屋市）

事業者概要

- 所在地：名古屋市中川区荒子5丁目165番地
- 代表社員：工藤 勉
- 就農年：2017年2月
- 雇用者数：職員3名の他、施設利用者6名等



取組概要

- 【生産（1次）】 田（自然栽培米）900a、畑66a（白菜、大根、唐辛子等）（2024年作）
- 【加工（2次）】 唐辛子の加工
- 【販売（3次）】 農業体験の開催「みんなで未来をつくらう米プロジェクト」
市民農園の運営…1区画12㎡、32区画を運営

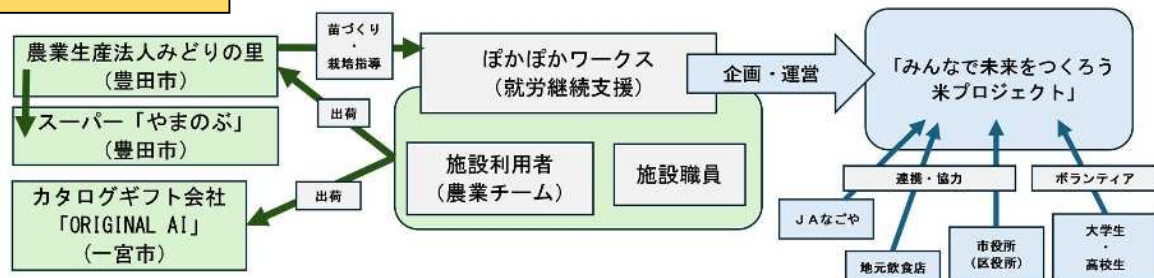
取組までの経緯

- ・ぽかぽかワークス（福祉事業所（就労継続支援B型））では、障害者の工賃向上を目指して、2017年から農業を開始した。名古屋市の農地バンクを利用して中川区の耕作放棄地を中心に畑5aから農業を始め、田の耕作も行うようになり、次第に栽培圃場が増えていった。
- ・2021年からは、人・農地プランの担い手候補となったことで、田の面積が急速に拡大していった。
- ・米の生産量増加に伴い、自然栽培米の付加価値販売が課題となり、ブランド化を目指すことになった。
- ・2024年11月に、環境負荷低減事業活動実施計画が認定された。

取組の特徴、強み

- ・市役所、JAなごや、福祉協議会、地元飲食店など、多様な関係者と連携して地域を活性化し、これらの活動全体をブランド化することで、付加価値型経営を目指している。
- ・農業体験の開催「みんなで未来をつくらう米プロジェクト」…2021年度から毎年開催
2024年度実績…60家族・ボランティア30名が参加。収穫祭は参加者350人を超える規模の開催となった。
- ・自然栽培米の生産・販売
生産…自然栽培での生産販売を行っている農業生産法人みどりの里と連携し、自然栽培米を生産。
販売…ウェディングギフトの「つつみ体重米」用に出荷（「ORIGINAL AI」のカタログギフトで販売）
農業生産法人みどりの里への出荷（加工品（せんべい等）となりスーパーやまのぶで販売）

ビジネスモデル・連携図



取組の課題

- ・規模の拡大や高温化により、雑草対策や適期収穫などが適切にできていないことなどにより、収量の低下（250kg/10a→150kg/10a）が起きている。
- ・ギフト「つつみ体重米」の需要増加、自然栽培米の需要の高まり、米粉商品の開発などを見込んでいるが、生産量が追いついていない。

課題解決の方法

都市化・高齢化により、水田の受託を見込んでいるため、倉庫の建設や大型で高性能な農作業用機械の導入などの設備投資を行い、自然栽培に適した栽培管理を確立し、栽培面積の増加と収量の向上により生産量を拡大する。

取組の効果

- ・農業の売上が5年前の10倍となっている。
（2024年度の農業の売上 1400万円）
- ・「みんなで未来をつくらう米プロジェクト」の開催により、地域の多くの関係者との連携の輪が広がってきた。

活用した支援策

- ・国費事業：農山漁村振興交付金（農福連携対策（ソフト事業・ハード事業）2022年度～3年間、
環境保全型農業直接支払交付金 2023年度～5年間
- ・名古屋市事業：優良農地保全利用対策事業（2021年度、2023年度）

今後の展望

今後5～10年後には、水田30ha、収量300kg/10aを目指す。



2024年「みんなで未来をつくらう米プロジェクト」活動風景



体重米とは、新郎新婦が生まれたときと同じ重さのお米をラッピングしたギフト。結婚式での両親贈呈品。

取組者のコメント

農業に関わりようになり、地域の将来をことを考える機会が増えました。高齢化が進んでいく中で、団結、一体感、平等など「農」の持つ潜在的な力を地域で発揮できるように、様々な方々と連携して地域を盛り上げていきます！